

大空小学校 学校のきまり

生活・服装について

- ・ 8：00～8：25（西門開門時間）の間に登校する。
※8：10までは靴箱付近やエレベーターホール等で待機する。
- ・ 放課後は16：30まで居残りをしてもよい。ただし、会議、研修等で教職員が立ち会えない場合は居残りはできない。（放課後学習、OZORA塾を除く）
- ・ 原則、「家庭から学校へ」に記載したルートで登校する。校区外から登校する児童は、サポーターの責任の下で登下校時の安全を確保する。
- ・ 児童だけで、遠い場所や危険な場所等に行かない。
- ・ 登下校時及び校外学習時は、赤白帽を白帽にして着用する。
- ・ 動きやすい靴（サンダル等かかとのないものは不可）を着用し、荷物はランドセル等の両手が空く丈夫なものに入れて登校する。
- ・ 校内では名札を着用する。
※1年生のみ、夏休み前までは登下校時も名札を着用する。（着脱が難しいため）
- ・ 校内では上靴を着用する。
※上靴を忘れた場合は職員室でスリッパを貸し出す。
- ・ 暑さ対策としてのネックリングや首に巻くタオル、寒さ対策としての手袋やネックウォーマーは、登下校時及び校外学習時のみ着用してもよい。
※マフラー、耳当て、ニット帽は安全の確保が難しいため着用しない。
- ・ コートやダウンジャケット等は、教室内では原則着用しない。

服装について（体育）

- ・ 赤白帽、ファスナーやボタンのついていない体操服を着用する。体操服の代わりに、体育用のTシャツや伸縮性のあるズボンを着用してもよい。（半袖と長袖、半ズボンと長ズボン、どちらでもよい。）
※見学の場合は体操服を着用しなくてもよい。
- ・ 体操服の下に、タンクトップ、キャミソール、半袖の肌着を着用してもよいが、その場合は学習後に着替えるのが望ましい。
- ・ 体操服の下に、長袖の肌着（ヒートテック等）やスポーツ用を含むスパッツ、タイツの着用はしない。
- ・ 寒さ対策として、ファスナーやボタン、フードのついていない動きやすい上着（トレーナー等）を着用してもよい。また、見学時や説明時、ウォーミングアップ時には、コートやダウンジャケット等の防寒着を着用してもよい。
- ・ 赤白帽及び体操服を忘れた際の貸し出しは行わない。
※体育の学習への参加は可能。ただし、安全の確保ができないと授業者が判断した場合は見学。



服装について（水遊び・水泳運動）

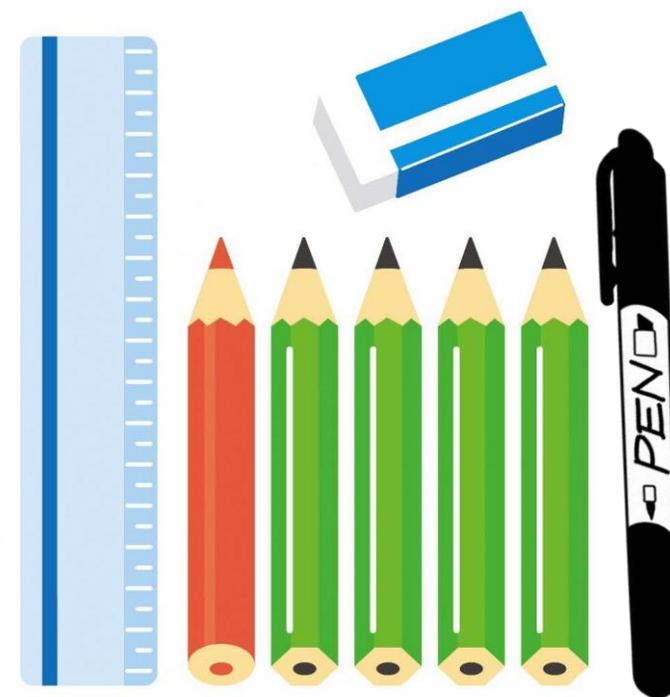
- ・水遊び・水泳運動には、水着、水泳帽、タオル、サポーターのサインを記入した健康観察カードが必要である。忘れた場合は見学となり、貸し出しは行わない。
※兄弟間での貸し借りは可能（健康観察カードを除く）
- ・水着は紺または黒のもの、水泳帽は白のものが望ましい。ビキニやトランクスなど、過度な装飾のあるものは学習に適さないため着用しない。
- ・ラッシュガードやゴーグル（水泳の学習に適しているもの、華美でないもの）を着用してもよい。ラッシュガードにチャックがついている場合は閉めて着用し、フードがついている場合は中に入れて込んで着用する。



持ち物について

- ・学習に必要なものは持ってこない。
- ・携帯電話はサポーターからの申請書を提出した場合のみ持ってきてもよい。
※校内では使用しない。
- ・お守り、キーホルダー等は、必要最低限のものであればつけてもよい。
(例：ランドセルに目印として1つつける、鍵をなくさないように1つつける)

- ・問題集やドリル、学校図書館以外の本を持ってきてもよい。（マンガや雑誌を除く）
- ・水筒の中身は水、お茶が望ましい。体調管理のために必要であれば、スポーツドリンクを入れてもよい。また、暑い時期や寒い時期は必要に応じて、氷や温かい飲み物を入れてもよい。（すぐに飲む量、温度を考慮する）
- ・カイロは原則、持ってこない。
- ・ハンドクリームやリップクリームは、健康管理のために必要であれば持ってきてもよい。
- ・制汗シートや制汗スプレーは原則、持ってこない。
- ・筆記用具は原則、鉛筆、赤鉛筆、消しゴム、ネームペン、定規（筆箱に入るサイズのもの）を使用する。



- ・4～6年生は、赤鉛筆の代わりに赤ペンを使用してもよい。（1本程度）
また、教科書に印をつける等、学習に必要であれば、蛍光マーカー等を使用してもよい。
- ・6年生は、鉛筆の代わりにシャープペンシルを使用してもよい。（1本程度）
- ・忘れ物は原則、当日の授業時間内に届けてもらうための連絡は行わない。（お弁当を除く）